

みどりの子 明るく やさしく 根気よく



緑が丘だより

令和6年度 第9号 (1月)

宇都宮市立緑が丘小学校 皆川 美弥子

回 覧



本年もよろしくお願いいたします

2025



令和7年の学校生活が始動しました。インフルエンザなどの感染症が気になる季節ですが、寒さに負けず、校庭で元気になるわとびやボール遊びをする姿が見られます。

冬休み明けの朝会では、校長から「挑戦」について話をしました。メジャーリーガーの大谷翔平選手も、数えきれないほどの敗戦や凡退、けがなどを経験しているというエピソードを紹介し、「失敗の数だけ僕たちは成長できる」という彼の言葉を全校生で噛み締めました。

緑が丘小学校の全児童にとって、充実した成長の1年になることを切に願い、学校経営を行って参ります。本年もご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

頑張る学校プロジェクト

宇都宮市では、創意工夫ある教育活動を通じた活気あふれる学校づくりを支援する取組として、「頑張る学校プロジェクト」として交付金の支援を行っています。

本校には約10万円の支給があり、「豊かなかわりを通して、共に学び、生き生きとかがやく学校」を目指した取組に支出いたしました。

具体的な購入物は、以下の通りです。

- ・ **マグネット、ファイル**
→学級活動における子供主体の授業作り
- ・ **SST (ソーシャルスキルトレーニング) シート**
→コミュニケーション力を高める指導
- ・ **ジェンガ、カードゲーム等**
→雨の日に教室で遊ぶためのグッズ
- ・ **色画用紙、お花紙、印刷用紙**
→児童会活動等で活用

体罰のない
明るく風通しのよい学校を目指して
～相談を受け付けます～

体罰は児童の身体や心を傷つける人権侵害行為であるとの考えのもと、市と学校が一体となり体罰根絶の取組を進めています。その一環として、不適切な指導についての相談の機会を設けております。

本校の実施日は以下の2日間です。お電話をいただくか、直接職員室にお越しください。窓口は校長、副校長です。

相談日時 2月13日(木) 9:00～12:00
14日(金) 9:00～12:00

☎ (緑が丘小) 658-2600

※学校に直接話しにくい場合などは、市教委の相談窓口(随時)をご利用ください。

学校教育課

学校いきいきグループ 632-2727

教職員グループ 632-2726

学校評価へのご回答 ありがとうございます

学校評価（うつのみや学校マネジメントシステム）の集計結果が学校に届きました。

保護者の皆様のご回答から、本校児童の「思いやりの心をもっている」「コミュニケーションにより生活をよりよくしようとしている」というよさや、「健康や安全に気を付けて生活している」「時と場に応じたあいさつをしている」などの姿が昨年より向上しているといったことが明らかになりました。学校としては、「地域学校園の取組」、「分かる授業やきめ細かな指導」といった項目に高評価をいただきました。



一方で、「不登校を生まない学級経営」「一人一人を大切にしたい明るい雰囲気」などに課題が見られました。これらの項目については、来年度に向け、対応策を検討しているところです。

自由記述欄にもご意見をいただきましてありがとうございました。複数の方から挙げられたご意見に対する学校の考えを以下に載せました。この内容以外でも、ご不明な点やご心配なことにつきましては、随時ご相談いただきますようお願いいたします。

【トイレがいまだに和式で汚い】

→ トイレの環境改善につきましては、市教委に要請しているところです。宇都宮市の計画では、R9年度までに市内全校のトイレ洋式化を行うことになっています。年末にはPTA環境部の皆様がトイレ掃除をしてくださいました。また、汚れが目立つ北校舎1階東側トイレは業者による清掃を行い、ずいぶんきれいになっています。

【安全への配慮が足りない ①プールの監視 ②オープンスクール時の警備 ③予定と異なる下校時刻】

→ ①プールの監視体制については、今年度に国内で起きた水難事故の現状を受け、強化を検討していたところです。余剰教員がいないため、監視人員の増加は難しいのですが、来年度からは常に3人体制で水泳指導を行えるよう、地域協議会とも連携してボランティアを募る予定です。多くの方々がボランティアにご協力いただけますと幸いです。

②地域に開かれたオープンスクールの意義と警備体制の強化の兼ね合いは難しいところがありますが、今年度の名簿記入などの対応に加え、来年度は、出入り口の制限、巡回教員の増員などについて検討して参ります。

③市内一斉研修などで下校時刻が早まった際、予定されている時刻よりも早く子供たちを下校させてしまった学級があったのかもしれませんが、大変申し訳ございませんでした。今後は、どの学級も予定の時刻に合わせて下校するよう、十分に気を付けて参ります。

【働き方改革というが…子供に寄り添う時間を作ってほしい時がある／家庭負担が大きくなる】

→ 働き方改革の目的のひとつは、「教職員がよいコンディションで気持ちにゆとりをもって子供と向き合うことができるようにすること」です。業務を縮減することで生み出した時間を、教師自身の精神的ゆとりにつなげ、子供と向き合うことに還元できるよう、今一度全職員で共通理解し、進めて参りたいと思います。お子さんに関してご心配なことがある場合は、遠慮なくご相談ください。

また、本校では文科省から出されている「学校及び教師が担う業務」に基づいておりますが、ご家庭での負担があまりに大きくなってお困りの場合は、ご相談いただくと幸いです。

以下のようなご意見もいただき、大変ありがたく、励みになります。

○ 交換授業（出授業）があり、他の先生にもクラスの雰囲気が分かるというのは、風通しがいい環境だと思う。

○ いつもよくみて熱心に関わってくださり、ありがたい。

今回掲載していないご意見に関しても、全教職員で共有し、今後の教育活動の参考とさせていただきます。お忙しい中でのアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

結果については、後日、ホームページでも公開いたします。

